

2026年6月17日から配信

応用自然科学専攻進学説明会



1. 組織・特徴
2. 学位授与までの流れ
3. 教育について
4. 経済的支援について
5. 入試について
6. 出願期間・試験日
7. 出願書類について
8. 合格発表、入学手続きについて
9. 問い合わせ

配信期間中、MoodleとHPにて何度でも見られます。
動画と一緒にアップロードした配付資料もご活用ください。



1. 組織

総合人間自然科学研究科（博士課程）

応用自然科学専攻

医学専攻

黒潮圏総合科学専攻

愛媛大学大学院連合農学研究科

応用自然科学専攻とは、

数学、物理学、生物学、情報学、化学・生命科学、地球科学・防災工学などの専門研究を深化させるとともに、分野を越えた視点から研究成果の社会実装に挑戦する博士課程です。

1. 応用自然科学専攻の特徴

- ① 主指導＋異分野副指導教員による指導体制
- ② 基礎研究から社会実装までを視野に入れた研究
- ③ 分野横断型研究教育
- ④ 英語論文・国際発表による研究者育成
- ⑤ 博士（理学）・博士（理工学）の取得

数理・物理・情報学分野
生物科学分野

博士（理学）

化学生命理工学分野
地球科学・防災工学分野

博士（理工学）

1. 組織 研究分野

社会実装



数理・物理・情報学分野

- ・ 計算システム・ソフトウェア科学領域
- ・ 代数・幾何学領域
- ・ 粒子・宇宙物理学領域
- ・ 物性物理・物性化学領域

数物・宇宙・AI・マテリアル

生物科学分野

- ・ 古生物・分子古生物学領域
- ・ 分類・生態学領域
- ・ 比較生化学領域
- ・ 分子生理学領域
- ・ 植物細胞生物学領域

バイオ・生命科学・海洋

分野横断型の研究教育の実現

化学生命理工学分野

- ・ 有機材料・反応化学領域
- ・ 機能物質・複合化学領域
- ・ 生命理工学領域

マテリアル・バイオ・光化学

地球科学・防災工学分野

- ・ 地球科学領域
- ・ 防災工学領域

地球環境・海洋・防災

- ① 分野横断の研究教育によって基礎科学研究をさらに深化
- ② 工学要素を追加し社会実装へのステップに必要な応用科学・理工学を強化
- ③ 基礎科学から社会実装までの一連を見据えた研究視点を涵養

各分野の担当教員は募集要項で確認

博士の学位を取るメリット・デメリット

メリット

研究を深められる

達成感を得られる



肩書が変わりブランド力がある

グローバルでも認められる

特に、海外のドクターの地位は高い！

デメリット

企業への就職が遅れる

日本の企業にはまだ博士号の受け皿が少ない



探求力と共に、

コミュニケーション力、まとめ力
を自分で伸ばしていきましょう！

研究職と技術職の違い

研究職

- 知的好奇心を追求したい人向け。
- 「なぜ？」を突き詰めることや、世界で誰も成し遂げていない発見をしたい人向け



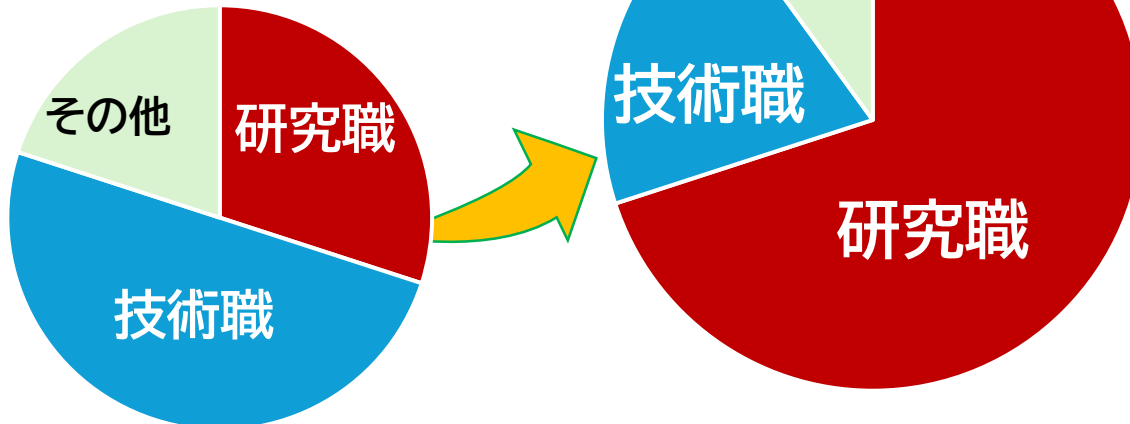
技術職(開発・設計・生産)

- 「形」にする喜びを感じたい人向け。
- 実際に動くものを作りたい、社会のインフラを支えたい人向け



博士課程修了者

修士課程修了者



博士学位は、研究者になるための近道！

今後は、博士研究者を積極的に採用する動き

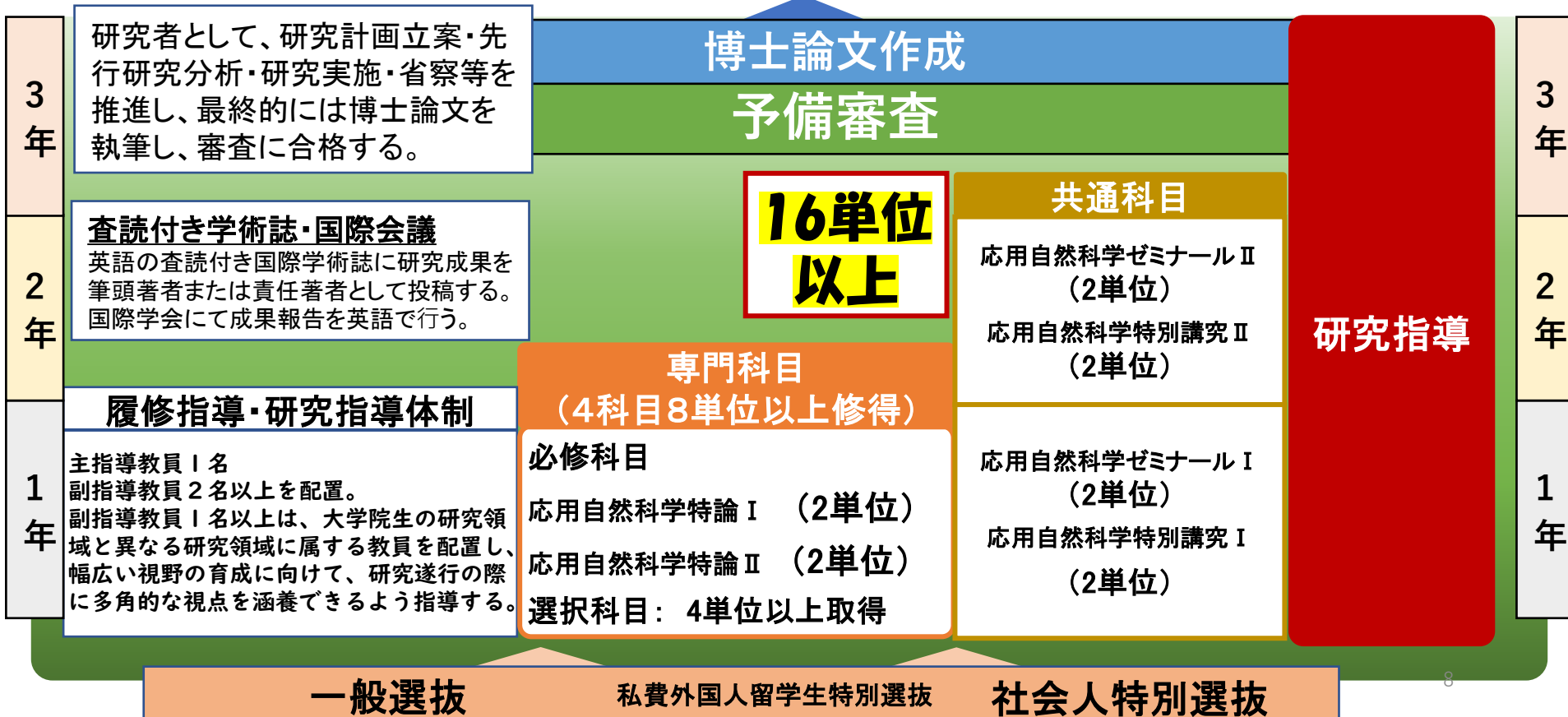
2022 内閣府
2024 文科省
2025 経産省

2. 学位授与までの流れ

教育の流れ

基礎理学、応用理学及び理工学の分野横断的な連携を通じて、自身の研究領域におけるイノベーション創出・社会実装に取り組むことができる高度な専門性、知識と技能を備えた研究開発型人材、理工系高度専門職業人の育成

学位取得 ・ ・ 博士（理学） ・ 博士（理工学）



2. 学位授与までの流れ **修了要件**

- ✓ 3年以上在学し、
- ✓ 16単位以上を修得し、
- ✓ 必要な研究指導を受けた上、
- ✓ 博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りる。(修士課程または博士前期課程を早期修了した者は、通算して3年以上の在学期間が必要)
(早期修了の要件は履修要項を要確認)

2. 学位授与までの流れ **学位論文と参考論文**

学位論文について

レフェリーシステムの確立した学術論文誌に掲載されたもの、
掲載されうるものを基に独自に作成

参考論文について

- レフェリーシステムの確立した学術論文誌に掲載されたもの、
または掲載が決定したもの
- 学位論文と参考論文のうち1編以上は英語であること
- 参考論文のうち、少なくとも1編は筆頭著者であること
- 参考論文は、博士課程入学後に出版されたもの

2. 学位授与までの流れ スケジュール

予備審査の手続き前におけるプレゼンテーションの実施

- 予備審査手続き1か月前までに、主・副指導教員3名以上の面前で、論文の構想・内容等についてのプレゼンテーションを行わなければならない。

9月下旬～10月上旬

3月修了の場合

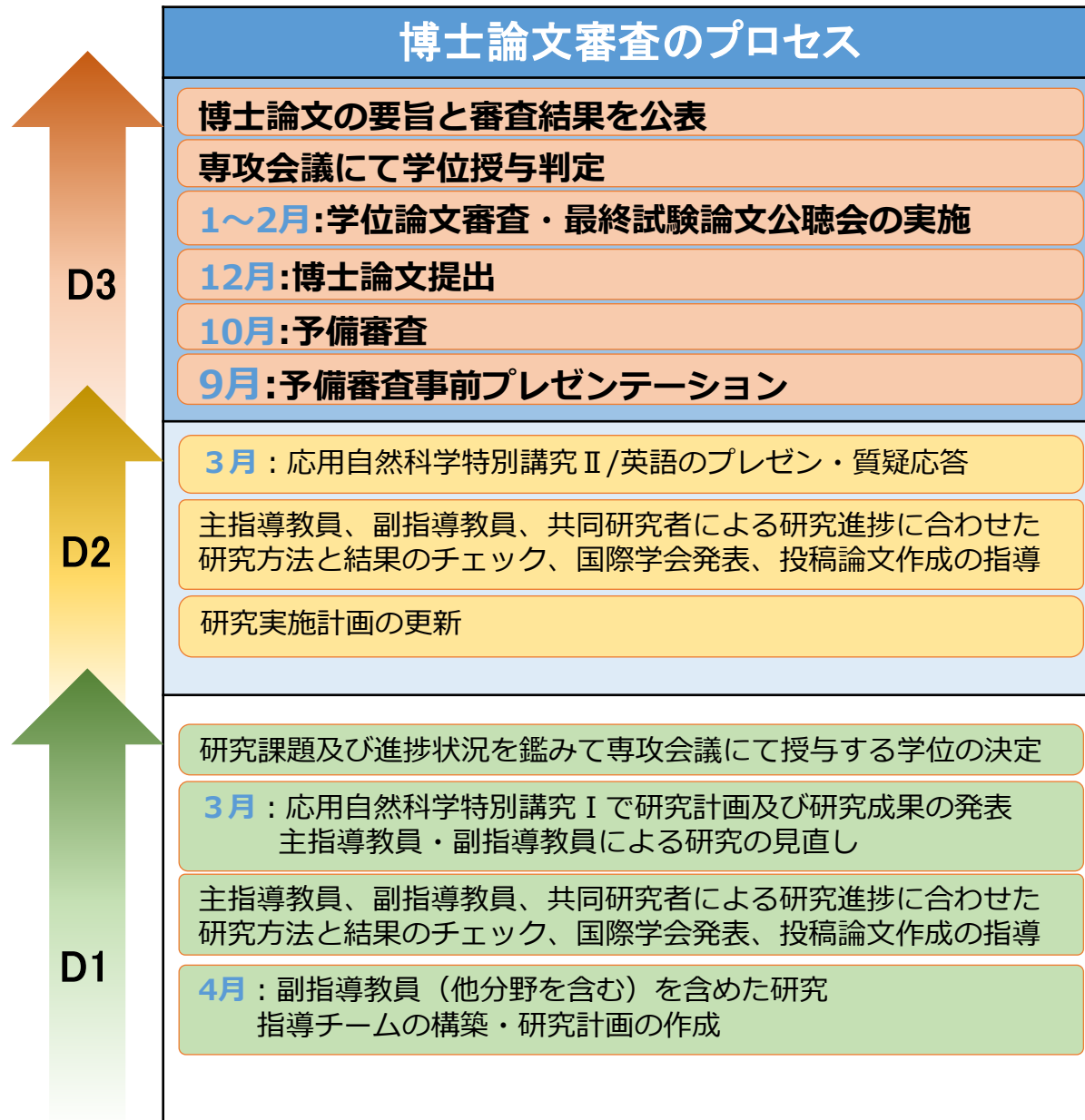
10月末までに予備審査の申請

予備審査について

11月上旬

- 予備審査までに、博士学位論文に関連した筆頭著者の国際学術誌を1編以上公表すること
- 国際会議またはそれと同等の研究会での発表を1件以上行うことを義務づける。

2. 学位授与までの流れ スケジュール



最近5年間の博士論文題目（20名修了）

2022年3月修了

- 岡島 宏樹(数学) 球面の安定ホモトピー群のギリシャ文字元について
- 西村 和也(物理) 冷却原子ポーラロンの基底状態
- 畑 知宏(物理) スピン自由度を含む量子開放系の定式化と冷却原子系への応用
- 島田 雄斗(生物) 原生生物繊毛虫コルポータにおける温度刺激による休眠シスト形成機構

2023年9月修了

- 長谷川 雄也(生物) 原生生物繊毛虫コルポータ(*Colpoda cucullus*)における土壌抽出液の脱シスト誘導効果およびシスト化阻害効果

2024年3月修了

- 中村 力也(生物) 原生生物繊毛虫コルポータ(*Colpoda cucullus*)の休眠シスト形成過程におけるシグナル伝達および休眠シストの耐性に関する研究
- 日野 ひかり(地球科学) 海水起源マンガングラスタの構造および組成の時空間的变化に関する地球科学的考察
- 生田 雄己(化学生命) 表面修飾ジルコニアの特性とその応用に関する研究
- 今井 斉志(化学生命) バクテリオファージを利用した細菌検査法の開発に関する研究
- 関田 慎也(化学生命) 機能性蛍光ナノエマルジョンの作製と細菌検出への応用

2024年9月修了

- 竹原 景子(地球科学) 東南極ケーブダンレーにおける過去50万年間の南極底層水の形成変動

最近5年間の博士論文題目（20名修了）

2025年3月修了

林 健太郎(物理) エキゾチックカイラル凝縮相における南部-ゴールドストーンモード

論文博士

亀田 和成(生物) 長期的なモニタリング調査に基づく八重山諸島のアオウミガメ個体群構造の変化

2025年9月修了

越智 一成(物理) ボース超流動体中の量子渦における低エネルギー物理とポーラロン問題

2026年3月修了

下村 磨生将(数学) ギリシャ文字元とレトラクト予想について

平岡 優海(数学) 準偏極曲面の一般化された随伴束の大域切断のなす次元の正值性とその次元の値が小さい場合の分類について

山口 蓮(生物) カジカ科アナハゼ属魚類の分類学的再検討

内田 嗣人(地球科学) 四国地域の中央構造線における浅部脆性変形の分布と断層帯の発達史

吹本 樹(生物) 殻微細成長と酸素同位体分析に基づく絶滅二枚貝トウキョウホタテガイの季節的殻成長と生息水温の復元

齊藤 瞭汰(化学生命) カタユウレイボヤの心臓における遺伝子の発現と機能の研究

最近5年間の博士修了者の進路（20名修了）

教員（大学、高専、高校）	4名
大学技術スタッフ	1名
博士研究員（大学・国研）	6名
企業博士研究員	5名
社会人D（民間、NPO）	4名

多くがプロの研究者として活躍！



3. 教育 履修科目の内容 (抜粋)



応用自然科学特論 I (必修2単位)

オムニバス形式で実施

- 「知的財産」、「共同研究・技術移転」に係る知識、「研究内容の効果的な提案方法や外部予算獲得等も含めた総合的な研究計画の立案に必要な手法」を修得
- 起業経験のある兼任教員、本学研究プロジェクト推進のため民間企業等からヘッドハンティングした兼任教員、民間企業等における研究開発経験を有する兼任教員が、研究開発や地域課題解決に係る事例等を教授する講義を実施。
- **イノベーション創出・社会実装に必要な知識を修得した上で、博士課程大学院生の修了後を見据えた「キャリアパス」、「キャリアデザイン」につなげる。**

講義内容

- (1) ガイダンス
- (2) 産学連携と技術移転
- (3)(4) 知的財産について & 特許権の概要、著作権の概要及び不正競争防止法の概要
- (5)(6) 研究プロジェクトの企画・外部資金獲得、研究プロジェクトの運営・成果発信
- (7) 第一次産業におけるデータサイエンスの応用
- (8) 研究成果の社会実装—青果物鮮度保持技術の社会実装を例として
- (9) 海藻に関する研究成果の産業利用と起業
- (10) 海藻での地域活性化
- (11) 共同研究からの社会実装
- (12) 共同研究成果の技術移転
- (13) 固体分析の社会実装
- (14) 橋梁事業を例に—社会に技術を活かす
- (15) 博士課程院生の修了後のキャリアパス・キャリアデザイン

3. 教育 履修科目の内容 (抜粋)

応用自然科学特論Ⅱ (必修2単位)



オムニバス形式で実施

- 自己の専門領域に係る知識を獲得するとともに、専門領域に係る思考力・判断力を涵養する上で、研究成果の社会実装に必要な知識を獲得。
- 分野横断型研究を実施している専任教員が、専門領域や近接領域における国際的な動向や最先端の知識を修得。
- 学術的知見を社会実装に結びつけた実例について学び、「応用自然科学特論Ⅰ」で学んだ知識と総合させ、**博士修了後のキャリアアップにつながる知識**を修得。

講義内容

ガイダンス： 1回

数理・物理・情報学分野：3回

生物科学分野：2回

化学生命理工学分野：6回

地球科学・防災工学分野：3回

3. 教育 履修科目の内容（抜粋）



応用自然科学特別講究Ⅰ（必修2単位）

- **研究計画及び研究成果の発表(日本語 or 英語)**
- 主指導教員・副指導教員による研究の見直し
- 履修後、主指導教員が、専門科目の履修状況、当該学生の研究課題及び研究の進捗状況等を基に応用自然科学専攻会議の審議を経た上で、授与する学位をあらためて決定する。

応用自然科学特別講究Ⅱ（必修2単位）

- **研究計画及び研究成果の発表(英語必修)**

4 経済的支援について

大学院生への経済的支援について

高知大学

経済支援

大学院

で検索

<https://www.kochi-u.ac.jp/education-support/tuition-aid/graduate-support/>

大学院生に対する拡充した支援

入学料免除

博士課程入学者全員の入学料を不徴収とします。

授業料免除（卓越した学業等成績優秀者）

博士課程の全専攻全学年1名（理工学専攻、農林海洋科学専攻、医学専攻は各学年2名）の学業等成績の優秀な学生は授業料を免除します。

学修奨励金

「卓越した学業等成績優秀者」に一人当たり10万円を限度とし支給します。

大学院生への経済的支援（免除・奨学金等）

授業料免除（経済的に困難な学生）

【大学院】

経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる方を対象とし、大学独自の家計基準及び学力基準を満たしている場合は、予算の範囲内で授業料が免除されます。 <https://www.kochi-u.ac.jp/education-support/tuition-aid/tuition-fee-support/>

奨学金関係

- ・大学院奨学金の主なものは日本学生支援機構貸与奨学金になります。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html>

- ・日本学生支援機構以外の奨学金としては、企業や地方公共団体等の奨学金があります。奨学金制度の募集時期、申請条件等は募集団体により異なります。募集の案内が届き次第、[KULAS](#) > お知らせ > カテゴリー「奨学金」に掲載しています。

大学院生への経済的支援（顕彰制度）

高知大学研究顕彰制度（大学院生研究奨励賞）

公募により、本学に在籍する大学院生又は愛媛大学大学院連合農学研究科に在籍して、高知大学に所属する教員を主指導教員として研究を行う大学院生で、独創的・個性的研究を行った者を学長が表彰し、研究奨励費として1件あたり5～10万円を措置しています。

高知大学教育研究活性化事業（研究成果公開促進サポート）

公募により、若手研究者及び大学院生を対象に、研究成果の公開に係る費用（学会発表に係る旅費・登録費等（大学院生が海外において行う学会発表・調査研究発表等に係る経費を除く。）、論文掲載に係る投稿料・掲載料・翻訳料・校正料・別刷り代等）を補助します。

大学院生への経済的支援（アシスタント制度）

ティーチング・アシスタント（TA）制度

優秀な大学院学生に対し、教育的配慮の下に教育補助業務を行うことで、学部及び大学院教育におけるきめ細かい指導の実現や大学院学生が将来教員又は研究者となるためのトレーニングの機会提供を図ることを目的に、給与を支給する制度です。

リサーチ・アシスタント(RA)制度

学術研究の一層の推進に資する研究支援体制の充実・強化並びに若手研究者の養成・確保を促進するため、本学が行う研究プロジェクト等に、本学の優れた大学院博士課程学生が研究補助者として参画することで、研究活動の効果的推進、研究体制の充実及び若手研究者としての研究遂行能力の育成を図ることを目的に、給与を支給する制度です。

ティーチング・フェロー(TF)制度

- 大学院生に教育支援経験を積ませ、将来の教育・研究能力を育成すること。
- ティーチング・アシスタント（TA）よりも高度な授業運営補助、学生への指導・サポート。

4. 入試について

定員 6名

第2次・第3次募集は、第1次募集で定員を満たさない場合に実施します

出願資格

(1) **修士の学位又は専門職学位**（学校教育法第104条第3項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び入学の前月にあたる**2026年9月又は2027年3月までに取得見込みの者**

(2) (以下省略)

募集要項に詳細があります

入試実施状況

年度	合格者	手続き者	本学出身者
H29	3	3	2
H30	5	5	3
H31	10(辞退2)	8	7
2020(R2)	3	3	1
2021(R3)	2(10月入学1)	2(10月入学1)	2
2022(R4)	7	7	5
2023(R5)	4	4	4
2024(R6)	7 (社会人1・10月入学1)	7 (社会人1・10月入学1)	7
2025(R7)	15 (私費外1)	14 (私費外1)	13
2026(R8)	3 (私費外1)	3 (私費外1)	3

(社会人特別選抜・私費外国人留学生特別選抜を含む)

選抜方法

- ✓ **口述試験**は**専門分野**における**基礎学力**及び**語学力（英語）**を含め、**受験者のこれまでの研究内容と博士課程での研究計画**についての**プレゼンテーション**を中心に行います。

指導教員と事前に連絡を取って
研究計画を話合っておきましょう!

5. 出願期間・試験日

出願期間

一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人留学生特別選抜

第1次募集

2026年7月14日(火)～7月16日(木)8時30分～17時必着

第2次募集

2026年12月15日(火)～12月17日(木)8時30分～17時必着

第3次募集

2027年2月9日(火)～2月12日(金)8時30分～17時必着

試験日

一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人留学生特別選抜

第1次募集

2026年8月19日(水)

第2次募集

2027年1月24日(日)

第3次募集

2027年3月2日(火)

2027年4月入学対象

6. 出願書類について

- ①入学願書
- ②受験票、写真票、入学検定料払込証明書
- ③住所シール
- ④最終学校の修了（見込み）証明書
- ⑤学業成績証明書
- ⑥修士の学位論文 or 研究経過報告書
- ⑦研究計画書（募集要項添付の用紙を使う）
- ⑧入学検定料(30,000円)
- ⑨受験票送付用封筒

① 入学願書

2026・2027年度

高知大学大学院 総合人間自然科学研究科 応用自然科学専攻(博士課程)

入学願書

ここを切り離して提出してください

		受験番号		※	
ふりがな		性別		男 ・ 女	
氏名		生年月日		西暦 年 月 日 生	
志望専攻		応用自然科学専攻			
志望分野		分野			
出願資格	西暦	年 月 日	国・公・私立	都・道 府・県	大学
	学部		学科 卒業		
出願資格	西暦	年 月 日	国・公・私立	都・道 府・県	大学
	研究科	博士前期課程 ・ 修士課程		専攻	コース ・ 分野 修了
国籍及び 在留資格		(外国人のみ記入) 国籍： 在留資格：			
選抜の種類		2026年10月入学・2027年4月入学(第1次募集 ・ 第2次募集 ・ 第3次募集) 一般選抜 ・ 社会人特別選抜			
現住所		郵便番号 (-)		電話 ()	
連絡先		郵便番号 (-)		電話 ()	
E-mail					
学 歴	西暦	年 月	高等学校 卒業		
	西暦	年 月	大学	学部 入学	
	西暦	年 月			
	西暦	年 月			
	西暦	年 月			
	西暦	年 月			
職 歴	西暦	年 月			
	西暦	年 月			
	西暦	年 月			
	西暦	年 月			

**予定指導教員
と事前に連絡
を取るようにし
てください。**

予定指導教員

○ 予定指導教員を選ぶにあたっては、「応用自然科学専攻の研究内容の概要」を参照し、この中から1人を選定してください。

⑥修士の学位論文 or 研究経過報告書

- 修士の学位論文を提出する者は、学位論文の写し及びその要旨（A4用紙を用い1,000字程度、英語の場合は500語程度）をそれぞれ2部提出すること。
- 上記以外の者は、**研究経過報告書**（A4用紙を用い1,000字程度、英語の場合は500語程度）を**2部提出**すること。
- 公表論文・研究業績がある場合は、論文等の写し及び研究業績調書（募集要項添付の用紙）を提出すること。

指導教員と事前に連絡を取るようになしてください。

**公表論文・研究業績がある場合は論文等の写し
及び研究業績調書（本要項添付の用紙）を提出すること。**

研 究 業 績 調 書
Research Performance

学術論文、研究報告、特許等の名称 Title of Paper, Research Report, Patent, etc.	発行又は発表の、(西 暦)年月 Date of Issue	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 Name of Publisher, Journal or Academic Society	共著者又は共同発表者名 Name of Collaborator(s) or Co-author(s)	備 考 Note	
←	←	←	←	←	
氏名 Name (print)			←	受験番号 Examinee No.	※

Studies in Applied Science (Doctoral Course)

- (注) Notes 1) ※欄は記入しないでください。(※ For official use only.)
 2) 学術論文等は、別刷又は写しを添付してください。(Submit a copy or an offprint of any papers, reports, etc.)
 3) 用紙が不足する場合は、コピーして使用してください。氏名欄以外の各欄はマイクロソフトの word 等で作成し、
 貼り付けても構いません。
 (Attach an additional sheet if more space is necessary.)

⑦研究計画書

研究計画書 Documents of Research Plan						Studies in Applied Science (Doctoral Course)	
氏名 Name	生年月日 Birthday	西暦 Year	年 Month	月 Day	日生 Day	受験番号 Examinee Number	※
志望する 専攻・分野 Prospective Research Field	応用自然科学 専攻 Studies in Applied Science					分野 Research Field	
入学後の研究テーマ Research Theme							
研究計画内容（これまでに研究業績等があれば記入してください） Contents of Research plan (Please write your research works.)							
<p style="text-align: center;"><u>指導教員と事前に</u> <u>計画を打合せする。</u></p>							

(注) 1. 研究計画内容はマイクロソフトの word 等で作成し、貼り付けても構いません。

You may make your research plan by using word processor and glue it.

2. ※印欄は、記入しないでください。Don't write anything in the ※ Examinee Number column.

7. 合格発表、入学手続きについて

合格者発表

一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人留学生特別選抜

第1次募集

2026年9月4日（金）

第2次募集

2027年2月9日（火）

第3次募集

2027年3月8日（月）

2027年4月入学対象

入学手続き日

第1次・第2次募集

2027年3月3日（水）－ 3月5日（金）8時30分～17時 ≪必着≫

第3次募集

2027年3月16日（火）－ 3月17日（水）8時30分～17時 ≪必着≫

8. 問い合わせ

何かご質問等ありましたら、

森 勝伸

メールアドレス mori@kochi-u.ac.jp

入試課大学院担当

メールアドレス nys-web@kochi-u.ac.jp